

2021 年2月8日

京成バス株式会社

新型コロナウイルスへの抗ウイルス効果が最大5年間持続 全車両の『抗菌・抗ウイルスコーティング』が完了しました

施工対象：路線バス・高速バス・貸切バス 全836両

京成バス（本社：千葉県市川市、社長：齋藤 隆）では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、昨年 11 月より、同ウイルスに最大5年間有効な『抗菌・抗ウイルスコーティング』の車内施工を開始し、今年 1 月に全車両の施工を完了しました。



抗菌・抗ウイルスコーティングの施工の様子

この取組みは、お客様の接触感染を防ぐため、手を触れる機会の多い「つり革」「手すり」「降車ボタン」などに対し、新型コロナウイルスへの有効性が確認された溶剤（無光触媒）を噴霧するもので、施工後はステッカーや液晶モニターにて「施工済み」の表示を行っています。

京成バスでは、お客様が安心してバスをご利用いただけるよう、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に取り組んでまいります。

『抗菌・抗ウイルスコーティング』の実施概要について

1. 対象車両 836両（一般路線バス637両、高速バス157両、貸切バス42両）
2. 施工内容 お客様が手を触れられる機会の多い箇所（つり革、手すり、降車ボタンなど）をはじめ、ガラス、壁面、座席シートなどの車内全体に無光触媒を専用スプレーガンで噴霧しました（高速バスはトイレ内も含む）。
3. 使用する触媒と確認されている抗ウイルス効果
 - (1) 名 称 無光触媒「SKYBE-783」（発売元：株式会社コスモ技研）
 - (2) 特 徴 光が無い夜間でも、付着するウイルスや菌を不活化します。
無臭、無害で人体への影響はありません。
1回の施工により最大5年程度効果が持続します。
 - (3) 効 果 「新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)」
※ISO18184、およびISO21702に準拠した第三者機関の試験結果によって、99.9%以上の減少効果が確認されました。
 - (4) その他 施工済みであることをお知らせするステッカーを乗降口付近（車内と車外）に貼付けるほか、車内の液晶モニターに表示します。



新型コロナウイルスは、一般的に飛沫感染と接触感染で感染するといわれており、京成バスでは国土交通省や厚生労働省からの要請、および日本バス協会が定めるガイドラインなどを踏まえて、感染拡大防止に関する各種取り組みを行ってまいりました。

京成バスでは引き続き、従業員の感染防止によるバスの運行確保と、安全・安心なバス輸送サービスの提供に努めてまいります。

- 京成バスの新型コロナウイルス感染拡大防止対策（ホームページ）

<https://www.keiseibus.co.jp/covid19/>

